



尾久八幡

令和8年度 10月号
令和8年10月5日発行
荒川区立尾久八幡中学校
校長 稲葉 裕之

全員でつかんだ総合2位!

荒川区立中学校連合体育大会 9月25日(金)

9月25日(金)、第78回荒川区中学校連合体育大会が江戸川区陸上競技場で開催されました。

本大会は、かつては国立競技場を会場に、区立中学校の全生徒が一同に会して行われてきました。その後、国立競技場建替を期に、平成26年度からは会場を変えながら開催されてきました。この間、開催方式・競技種目等も見直しされ、会場規模の関係等により、現在は選手・係生徒のみの参加、トラック競技は予選を行わないタイムレース方式となっています。



選手はここまで、一人ひとりが目標をもち、共に励まし合いながら、練習を重ねてきました。その結果、総合得点で2位という、好成績を収めることができました。これは、補欠選手も含め一人ひとりが本校の代表として誇りをもって参加、入賞の有無にかかわらずそれぞれがベストを尽くしてくれたことで、本校選手団全体として得られた成果だと思えます。よくがんばってくれました。また当日、大会運営の係として参加してくれた生徒も多数おり、おかげでこうした大会が実施できました。ありがとうございました。本大会に参加した生徒の皆さん、お疲れ様でした。

— 入 賞 者 紹 介 —

男子

1年男子	100M	第1位	山本幸太郎	12"55
2年男子	100M	第1位	佐藤 諒	11"84
共通男子	200M	第5位	安藤夕朔	26"06
1年男子	1500M	第2位	早坂郁人	4'49"05
2・3年男子	1500M	第2位	綱川凜佑	4'40"55
2・3年男子	3000M	第3位	石川 創	10'14"98
1・2年男子	走幅跳	第4位	青山晃大	4m84
3年男子	走幅跳	第5位	朴 航佑	5m29

1年男子4×100MR	第1位	長井颯哉、菊地新大、川瀬雄大、山本幸太郎	50"22	【大会新記録】
2年男子4×100MR	第1位	岩瀬結真、佐藤 諒、佐藤悠吏、大泉恵一	48"72	
3年男子4×100MR	第6位	北原功大、安藤夕朔、小林 蒼、田中虎哲	48"82	

女子

1年女子	100M	第3位	安藤小夏	14"80
2年女子	100M	第1位	石丸美月	14"26
3年女子	100M	第2位	中村舞子	13"84
共通女子	200M	第3位	守本咲歩	30"55
1年女子	800M	第1位	西川紗奈加	2'43"59
2・3年女子	800M	第4位	一色愛桜	2'48"10
共通女子	1500M	第5位	荒木音乃	5'55"22
1・2年女子	走幅跳	第3位	青谷穂空	3m79
共通女子	砲丸投げ	第1位	田近ちとせ	9m90
1年女子4×100MR	第2位	西川紗奈加、白井香帆、奈良珠和、安藤小夏	57"90	
3年女子4×100MR	第5位	仲里璃愛、守本咲歩、笠井桃香、青山千華	57"26	

人生の先輩との対話を通し、多様な考え方・価値観を知り、生き方を考える機会となりました。

2年 “キャリア・ワークショップ” 9月5日(土)

本校では、学校経営方針3つの柱の一つに「『関わる力』人間関係づくり」を掲げています。“キャリア教育の推進”もその一つで、2年生では、一般社団法人ひと・つながり研究所ラクシューミーのご協力いただき、「キャリア・ワークショップ」を実施しました。これは、社会人・大学生からこれまでの人生の物語を聞き、その後の対話を通して生き方について考える“キャリアトークセッション”です。



1時間目のアリーナでのガイダンス&アイスブレイクのあと、8つの分かれた各教室で、トークセッションを行いました。その後アリーナに再度集合、グループごと、記入したワークシートなども使いながら、講座を受けた社会人・大学生の方と今日の感想などを伝え合うなどしながら、今回のまとめをしました。講師の方と自然な形で会話する生徒たちの様子が印象的でした。

今回のトークセッションは、

- ・いらしていただいた社会人・大学生の方から、「その人の人生の物語を直接聞く」経験
 - ・講義や発表、プレゼンテーションを聞く・するのではなく、「異なる年齢の方と話す・伝え合う」体験
- といった、日ごろ学校ではできない、意義ある体験、貴重な経験となりました。

周囲への配慮ある行動で、3年生の良さが光った、3日間でした。

3年 修学旅行 9月9日(水)～11日(金)

今回、修学旅行の目的の一つを「平和学習」として、訪問先に「広島」を加えて実施しました。

1日目は、「原爆ドーム」や「広島平和記念資料館」など数多くの史跡がある「平和記念公園」を班別行動で巡りました。その際、平和学習に取り組んでいる広島市立己斐中学校の、3年生の生徒さんに案内してもらいました。住む地域が違っても同じ中学生同士、公園内を巡りながら打ち解けた雰囲気様々なことを語り合うことができ、交流を深めることができました。



二日目の朝は、厳島神社見学に行きました。海の中に立つ鳥居や、海に浮かぶ朱色の回廊のような社殿は、澄み切った早朝の空の青さを背景に、とてもきれいでした。他の参詣者はほとんどいないため、“貸し切り状態”で見学することができました。その後、新幹線で京都へ移動、昼からは京都班別行動をしました。ゴールは、琵琶湖の大津港。夕食は、ここから発着する4階建て大型客船「ピアンカ」での貸切クルーズで、buffet形式でいただきました。



三日目は、前日より多少気温も上がりましたが、京都一日タクシー班行動なので、エアコンも効いていて、快適に移動できました。金閣寺や伏見稲荷大社など、運転手さんが見学地を効率よく廻っていただけたので、充実した見学をすることができ、京都を存分に味わうことができました。



今回の修学旅行では、行く先々でお世話いただいた方々への「ありがとう」の感謝の言葉や、交流した己斐中学校生徒たちとの接し方など、その自然な立ち振る舞いからは相手への配慮が感じられ、成長を感じました。この学年の生徒の良さが光った、“集大成”といえる行事となりました。この成果を、卒業まで残り約半年の学校生活に、そして進路に向けての取組に生かしていきましょう。

図書委員の運営で、読書や発表活動の楽しさを分かち合う行事となりました。

校内ビブリオバトル 開催 9月4日(金)

荒川区では、平成30年5月の「読書を愛するまち・あらかわ」宣言に基づき、読書活動を推進しています。八幡中としても、学校経営方針の5つの柱の一つに掲げ、本に触れる機会の充実を図っています。

そうしたなか、9月4日(金)の放課後、図書委員の運営で「校内ビブリオバトル」を開催しました。「ビブリオバトル(書評合戦)」とは、“バトラー”と呼ばれる発表者が自分のおすすめの本を紹介、会場の観覧者“オーディエンス”が一番読みたいと思った本に投票し“チャンプ本”を決めるイベントです。八幡中では一昨年度に引き続き3回目の開催となります。



当日の参観は自由として案内をしたところ、放課後は自身の部活動がある生徒もいるなか、96名の生徒が集まりました。これは、全校約480名の本校の、実に約1/5にあたる人数で、関心の高さに驚きました。そうした後押しもあり、各学年代表2名、総勢6名のバトラーの生徒は熱い戦いを繰り広げてくれました。どのバトラーも、自分のお気に入りの本の魅力について、それぞれ工夫しながら語ってくれ、どの本にも興味が湧きました。AB2つのグループでの予選を経て、各グループの勝者2名により決勝を行いました。



その結果、大友 辰馬さんが紹介した『爆弾』がチャンプ本に選ばれました。おめでとうございます。大友さんは、12月に行われる「全国中学ビブリオバトル東京大会」に学校代表として参加する予定です。

こうした機会を通して、読書や発表活動に興味や関心をもつきっかけになってくれるといいなと思います。八幡中の文化的な楽しみを味わえる図書行事となりました。見事な運営・進行をしてくれた図書委員会の皆さん、ありがとうございました。